

- ・ H28. 4. 14（木）21時26分ごろ熊本県熊本地方で地震（最大震度7）が発生したため、災害対策本部が非常体制を発令（熊本県、熊本市、益城町、グランメッセ対策本部等へリエゾンを派遣）
- ・ H28. 4. 15（金）1時25分に緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）14名を益城町へ派遣。



直ちに災害対策本部を立ち上げ



本省とテレビ会議により情報共有



TEC-FORCE隊員出発前ミーティング



TEC-FORCE隊員が益城町へ出発

- ・ H28. 4. 15（金）停電のなか、益城町役場の避難所に明かりを灯す照明車18台を派遣
迅速な災害復旧に向け、現地に対策本部車や情報収集車を配備し、各種支援活動を開始



▲ 災害対策用車両が被災地に集結



▲ 益城町役場に照明車を派遣し、夜間作業に対応



▲ 災害対策本部車を展開



▲ 最前線で情報を収集し、活動に反映

- ・ H28. 4. 15（金） 九州地方整備局が備蓄する飲料水や非常食、防寒対策の毛布、ブルーシート等を被災自治体へ提供



▲ 整備局が備蓄する飲料水と非常食を提供



▲ 整備局が備蓄する毛布を提供



▲ 支援物資をトラックへ積み込み



▲ 益城町役場で支援物資を積み卸し

- ・ H 2 8 . 4 . 1 5 （金） TEC-FORCE隊は明け方に被災地に到着し、現地調査に着手。
道路面のひび割れや陥没の有無、土砂崩落箇所等を調査。



▲ 災害対策本部で調査方針を確認



▲ 被災地での調査に着手



▲ 地域住民にも確認



▲ 法面崩壊箇所を調査

- ・ H28. 4. 15（金）～16（土）防災ヘリ「はるかぜ号」による上空調査を実施。
道路陥没や土砂崩落箇所の調査、被災地へ入るための安全ルートの確認等を実施。



▲ 九州自動車道の陥没



▲ 土石流による道路寸断、橋梁の喪失

▲ 大規模な道路崩壊 車両や家屋が二次被害

▲ 電車脱線による通行不可

- ・ H 2 8 . 4 . 1 6 （土）九州地整の災害対策本部において、宮内大臣政務官が被災地の状況を確認し、今後の対応方針を職員に対して指示されました。



▲ 局長、企画部長から被災地の状況を説明



▲ 宮内政務官から九州の状況を説明



▲ 職員に対し今後の対応方針を指示

- ・ H28. 4. 17（日） 全国の地方整備局からTEC-FORCE隊が九州に集結し、被災地の熊本へ出発しました
熊本では被災状況調査の任務にあたります。



▲全国からTEC-FORCE隊が集結



▲九州地方整備局から隊員へ協力要請



▲被災地の熊本へ向け出発



- ・ H28. 4. 17（日）防災ヘリ「はるかぜ」による被災状況調査の映像をリアルタイムに提供できるよう、Ku-SAT（衛星通信装置）、モニターを南阿蘇村役場に設置するなど、情報通信体制を確保しました。



▲ 南阿蘇村長への調査方針を説明



▲ 南阿蘇村役場にKu-SAT（衛星通信装置）を設置



▲ 南阿蘇村長室にモニタを設置



▲ 防災ヘリ「はるかぜ号」の調査映像

- ・ H28. 4. 17（日）南阿蘇村で発生した土砂崩落地に九州地整TEC-FORCEのドローン飛行部隊を派遣し、被災状況を調査。ヘリコプターよりも崩落地に近づき、詳細に確認が可能となります。



▲ ドローンの飛行ルートを確認



▲ 離陸前にドローンを点検



▲ ドローンが離陸し崩落箇所へ急行



▲ 土砂崩落箇所を調査

- ・ H 2 8 . 4 . 1 6 （土）～ 一部で断水している熊本市への支援として、熊本港内のフェリーターミナル横の岸壁にて、九州地方整備局所有船「海輝（かいき）」「海煌（かいこう）」から飲料水の提供を行っています。



▲ 飲料水を提供する調査観測兼清掃船 海輝、海煌



▲ 熊本港内での飲料水の提供



▲ 海輝からの飲料水の提供状況



▲ 海煌からの飲料水の提供状況

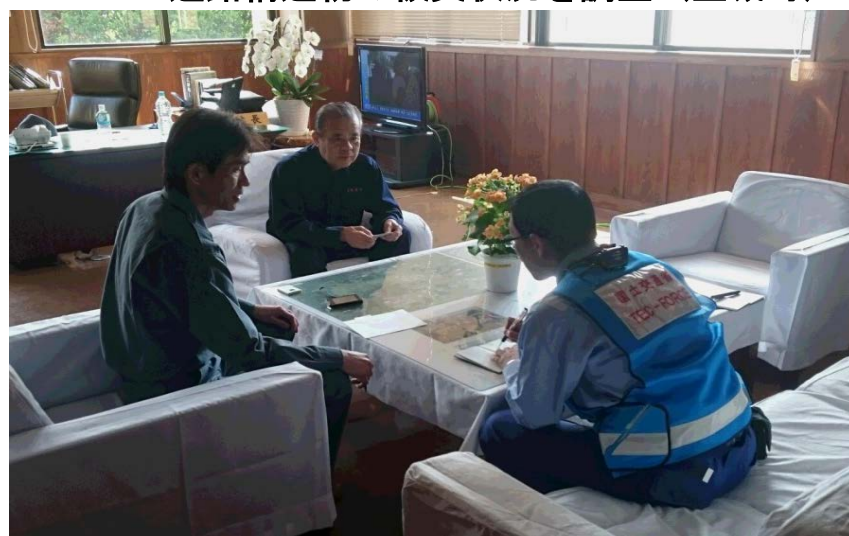
- ・ H28. 4. 17（日）地震による道路の陥没や構造物の損壊、土砂崩落の発生などによるインフラ被災状況の調査を実施。



▲ 道路構造物の被災状況を調査（益城町）



▲ 道路被災箇所を調査（益城町）



▲ 南阿蘇村長へ調査方針を相談



▲ 土砂崩落による被災箇所を調査（南阿蘇村）

- ・ H28. 4. 17（日）TEC-FORCEが東海大学阿蘇キャンパスへ通じる道路の被災箇所の応急対策を実施し、支援物資等の輸送経路を確保しました。



▲ 道路被災箇所を調査



▲ 地域の方へ通行ルートについて説明



▲ TEC-FORCEによる応急対策作業状況

熊本地方の地震に関する九州地方整備局の活動状況（13）

- ・ H28. 4. 18（月）国土交通省が、土砂災害の専門家等で設置した土砂災害現地調査チームとTEC-FORCEが合同で、土砂災害状況調査を実施しました。



▲ 土砂災害現地調査チームと事前打合せ



▲ 火の鳥温泉地区における現地調査（南阿蘇村）



▲ ドローンによる空中からの調査



▲ 高野台地区における現地調査（南阿蘇村）

- ・ H28. 4. 19（火） 被災した宇土市からの支援要請を受け、直ちにTEC-FORCEを派遣し、技術的支援を開始。また、市役所執務室の一部として、中部地整の対策本部車を貸し出し。



▲立ち入りが制限された市役所庁舎



▲ TEC-FORCEと日建連、県建設業協会が共同で調査



※室内は約10畳

▲ 執務室として活用可能な車両を宇土市に貸し出し



執務室の様子を確認する宇土市長

▲ 宇土市では車両に机を設置し執務を実施

熊本地方の地震に関する九州地方整備局の活動状況（15）

H28. 4. 20（水）熊本県の管理する益城町内の幹線道路（国道443号）について、TEC-FORCEや専門家チームが調査し復旧に向けた技術的指導や工事監督支援等を実施。被災から1週間で復旧が完了し、迅速な物資輸送が可能となる経路を確保。



▲ TEC-FORCEが道路の被災状況を調査



▲ 被災現場で法面の復旧工法を技術的に検討



▲ 熊本河川国道事務所による道路復旧の工事監督支援



▲ 4月16日に被災



▲ 1週間で復旧